



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 493号

2016. 3. 26

発行責任者

岸田義典

目次

2016

- 黒竜江省地域の農業実態調査
農研機構革新工学センター 嶋津光辰氏……………2
- 国別輸出入 (2016年1月)……………9
- EVENTS CALENDER……………14

Vol. 3

黒竜江省地域の農業実態調査

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農業技術革新工学研究センター

土地利用型システム研究領域研究員 嶋津光辰氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 493 回海外農業機械事情報告会を平成 28 年 3 月 1 日（火）に開催した。講師は農研機構革新工学センターの嶋津光辰氏。同氏は、昨年 8 月に中華人民共和国黒竜江省を訪問し、生長計測技術に関する講演を行うとともに、農業機械市場、農村農家、国営農場等を視察した。穀倉地帯であり、中国農業にとって重要な同省の最新情勢を、写真と資料をもとに報告した。

要旨は以下の通りである。

農研機構は、食料・農業・農村に関する研究開発などを総合的に行う我が国最大の機関です。講師は当機構に所属し、現在は主にコンバイン等の収穫関係の研究に携わっています。去る 2015 年 8 月 1～7 日までの一週間、中国の黒竜江省へ海外事情調査に行く機会がありましたので、ご報告します。

今回の調査は、農研機構へ入所する以前の大学時代から研究していた、根菜類の生長計測に関わる研究成果について、中国黒竜江省のジャムス市にある中国黒竜江省農科院の張春峰研究員から講演の依頼を受け、共同研究者である北海道大学農学研究院の柴田洋一教授と共に訪問しました。移動に往復約 4 日を費やし、講演および互いの研究紹介や意見交換に 1 日、残りの 2 日間で黒竜江省の農業機械市場（ジャムス）、農村農家（双鴨山）、国営農場（虎林）、そして農薬販売店（尚志）等、中国農業の現場を見学してきました。主にこちらについてお話しします。

黒竜江省の概要

中国の地図でいえば北東部に位置しています。ロシアと隣接しており、文化的にはロシアの影響も多く受け、街中にはロシア風の建物も見られます。総人口は 3,800 万人（中国 13 億人）で、農村人口はおおよそ半分の 1,700 万人（中国 7.2 億人）です。総面積は 4,600 万 ha（中国 9.6 億 ha）で、このうち耕地面積は 1,200 万 ha（中国 1 億 ha）で総面積の四分の一とかなり広い面積を占めています。

土壌としては、有機質含量が良く、世界三大黒土帯の 1 つとされています（他の 2 つは、ウクライナとミシシッピ流域）。緯度が北海道に近く、気候は北海道によく似ています。生産されている作物は、北海道で盛んに作られている作物がほぼ当てはまり、水稲、小麦、大豆、コーン、馬鈴薯です。なかでもコーンがとて多く見られました。他は、テンサイ、亜麻、タバコ等も作られています。食糧生産は年間 2,500 万 t、中国全体では 6 億 t ですから、その約 5 %がこの地域で生産されています。

中国農科院での講演

講演依頼があったのは、中国黒龍江省農業科学院

黒竜江省地図

